

## 第222回中央委員会開催 18年度下半期のとりくみ方針決定

12月11日、高校会館において第222回中央委員会を開催し、18年度下半期のとりくみ方針の決定と、来年9月実施の県議会議員選挙立候補予定の千葉進県議の推薦決定を行いました。

### 《主な質疑・意見》 ◇中央委員 ◆本部

◇舎監業務の後の特割について

◇海外への修学旅行の特割、および対象期間の拡大について

◆定期交渉において、支援学校の寄宿舎舎監による宿直業務に対して4時間を特割の対象とすることを獲得。高校・農場の宿直業務に関しては来年度以降へ持ち越し。修学旅行については様々な実施形態に対応できるよう交渉を継続する。直近の交渉において、朝の交通指導・夜等の校外巡回指導、校内でのPTA活動を特割対象とし、12月中に各校へ文書を発し、1月から実施予定であることを確認した。



◇働き方改革WG・作業部会について

◇給特法の正しい理解が必要

◆教職員定数増を要望しているが、難しい。県立学校へのスクールサポートスタッフ配置を要望している。

◆給特法の歴史も理解しなければいけない。(関連して)中教審の答申素案に、超勤縮減に向けて「年間の変形労働時間制」導入が盛り込まれた。条例化しないよう議会対策が必要。

◇臨採者の会計年度職員への移行については、①年金・保険の空白期間を無くすこと。②職務内容によって、正規と同等の給与にすること。③昇給に上限を設けない。④公立学校共済に加入できること。以上4点を重点課題としてとりくむべき。

◆新制度に向けた県のとりくみは遅れている。現制度を下回らないよう要求していく。

### 2019年9月実施予定、岩手県議会議員選挙 千葉進県議（一関選挙区）の推薦決定！

高教組元執行委員長の千葉進県議の2期めの当選をめざして、推薦決定をしました。高校・支援学校の課題を直接県政に訴えるため、必勝をめざしてとりくむことを確認しました。



あいさつをする千葉進県議